



Labo Communication

有限会社 関錦二郎商店

関 錦二郎

インターディシプリナリーアプローチ＝歯科医療の中で各分野（歯周、外科、矯正、補綴）のプロフェッショナルDDS同士の専門的な連携が注目される中、その以前よりDDS、DH、DTのチームアプローチは必需とされてきた。

しかしながらチェアサイドとラボサイドのコミュニケーション不足によるエラーや意思の不疎通などが両者のみならず患者様にも不利益を与える結果を誰しも経験しているところではないだろうか。

チーム医療の一員として補綴製作分野を担当する技工士の視点から、補綴修復を成功に導くポイントやステップに必要な資料などを、実際の症例を元に考えてみようと思う。

【略 歴】

- 1996年 青森歯科技工士専門学校卒業
2000年 クワタカレッシジシニアコース 修了
2002年 クワタカレッシジコンフプリートコース 修了
原宿テデンタルオフィス 入社
2006年 原宿補綴研究所 退社
岩手県盛岡市にて有限会社 関錦二郎商店 設立
2013年 湯浅セミナー1期 修了
2014年 東京にしむら塾7期 修了

現 在 東京SJCD会員
盛岡インフプラントスタテディーグループ (MIG) 会員
一水会会員
九塵芥会員
関錦二郎商店教室主宰
東北大学歯学部付属歯科技工士専門学校非常勤講師